

1. 広東省

1. 人事異動

●省党委員会の討議を経た人事異動に関する事前告示によれば、姜建軍・深圳市南山区党書記が湛江市長候補、許志暉・潮州市常務副市長が茂名市長候補に選出された（3月24日付『南方日報』）。

●15日午後、広晟公司幹部大会で、許光・元茂名市党書記が広晟資産経営有限公司董事長に就任。同日午後、珠海市指導・幹部大会で、李沢中・元広晟資産経営有限公司董事長が珠海市長代理に就任。16日昼、湛江市指導・幹部大会で、鄭人豪・元珠海市長が湛江市党書記に就任。魏宏広・元湛江市党書記は省発展改革委員会党書記へ異動（3月16日付『南方網』）。

2. 胡春華・省党書記がミクロネシア連邦大統領と会談

●19日午後、胡春華・省党書記が深圳市でピーター・クリスチャン・ミクロネシア連邦大統領と会談し、次のように述べた。中国とミクロネシア連邦の友好関係という大きな枠組みの下、広東省とミクロネシアは地方交流・協力において豊かな成果を得てきた。同省の産業システムはかなり整備されており、「一帯一路」建設に積極的に参加しているところである。ミクロネシアは太平洋中北部に位置し、漁業、観光等の資源が豊富で、双方の協力も前途が開けている。両地域が友好省・州、友好都市というプラットフォームの役割を十分に発揮し、企業間交流を強化し、経済・貿易・投資、農業・漁業、観光、医療・衛生等の分野における実務協力を深め、双方に利益をもたらすウィンウィンを実現していきたい。李杰・在ミクロネシア連邦中国大使、許勤・深圳市党書記兼市長、林少春・省政法委員会書記等も同席（3月20日付『南方日報』）。

3. 広東省とマカオが海上の安全確保で協力

●先頃、マカオ特別行政区海事・水務局と広東省海事局がマカオで業務会議を開催し、双方は船舶管理通報メカニズムを構築し、両地域の海事管理の質と効率を向上させると同時に、共同でパトロール・訓練を行うことを通じて、海上の安全確保のため協力していくことで合意した（3月20日付『広州日報』）。

4. 胡春華・省党書記が深圳市、惠州市を視察

●20日～21日、胡春華・省党書記は上記視察で、イノベーションによるリードを終始堅持し、新産業・新プロジェクトに全力で取り組み、企業に対するサービス・保証をしっかりと行い、实体经济を力強く発展させていかなければならないと強調。胡書記は華大遺伝子（BG I）、勁拓自動化設備（J T）、沃特瑪電池（オプティマムナノ）、惠州クラリアント化学工業、深圳信立泰薬業（Shenzhen Salubris Pharmaceuticals）、光弘科技（DBG）、科達利精工（KDL）、深圳赢合科技、惠州九聯科技（UNIONMAN）、康冠科技（KTC）、龍旗科技（LONGCHEER）等の企業を視察し、華星光電第11世代液晶パネル生産工場、聯合飛機科技有限公司、BYDモノレール、惠州華瀛石油化学工業、中海油（CNOOC）惠州石油精製基地第2期工事等のプロジェクトの建設現場を視察した（3月22日付『南方日報』）。

5. 馬興瑞・省長がバダウィー元首相一行と会談

●22日午後、馬興瑞・省長がマレーシアのバダウィー元首相一行と会談し、次のように述べた。広東省はASEAN諸国、特にマレーシアとの協力を非常に重視しており、双方が共に「一帯一路」建設を推進し、製造業への投資、工業パーク、港湾整備等の分野で実務的な協力を拡大していきたい。在広州マレーシア総領事も同席（3月23日付『南方日報』）。

6. 馬興瑞・省長がオーストラリアを訪問

●中央の承認を経て、馬興瑞・省長がオーストラリア連邦委員会主席の招きに応じ、23日～25日の日程でオーストラリアを訪問し、シドニー開催の「第2回中豪省・州責任者フォーラム」、「中豪経済・貿易協力フォーラム」に出席。李鋒・省政府秘書長、陳秋彦・省外弁主任が同行（3月23日付『南方日報』）。

7. 胡春華・省党書記がグロネル・イスラエル首相府次官と会談

●23日午後、上記会談で胡春華・省党書記は次のように述べた。本年は中国とイスラエルの国交樹立25周年であり、先頃、習近平・国家主席が訪中したネタニヤフ首相と会談し、両国は全面的なパートナーシップを構築・刷新すると宣言し、双方の協力を深めていくための方向性が明示された。両国の指導者が合意したコンセンサスをしっかりと実行し、

イノベーション、経済・貿易、観光、インフラ建設等の分野における交流・協力を更に深め、イノベーション協力パークや広東・イスラエル理工学院等の協力プラットフォームを共に建設し、相互に利益をもたらすウィンウィンを実現していきたい。何沢偉・在中国イスラエル大使、温国輝・広州市長も同席（3月24日付『南方日報』）。

8. 広州市従化区の火力発電所で事故発生

●25日午前8時頃、広州市従化区の火力発電所で作業用の足場が倒壊し、9人が死亡、2人がケガをする事故が起こった。省党委員会・省政府はこのたびの事故を非常に重視し、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が直ちに重要指示を出し、任学鋒・広州市党書記、林少春・省政法委員会書記、李春生・副省長（兼公安庁長）、温国輝・広州市長等、省・市の指導者たちが負傷者を全力で手当てし、適切に善後策を講じ、事故の教訓を汲み取り、安全生産業務をしっかり行うよう明確な指示を出した（3月26日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 広州市代表团が中国発展ハイレベルフォーラムに出席

●18日～21日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長率いる広州市代表团が北京で開催された中国発展ハイレベルフォーラムに出席し、開幕式、経済サミット、非公開の円卓会議に参加し、アップル社CEO、特斯拉モーターズ・グローバル総裁、U社総裁、ユニテッド・テクノロジーズ董事長、ポールソン基金のヘンリー・ポールソン元米財務長官等、計30に及ぶ国内外の有名企業・組織の責任者と会談した。陳志英・常務副市長、潘建国・市党秘書長、葉牛平・市政府秘書長、市発展改革委員会、市商務委員会、市外弁、その他関連する区の責任者も同フォーラムに出席（3月21日付『広州日報』）。

2. 百済神州バイオ製薬プロジェクトが着工

●21日、広州開発区で上記プロジェクトが着工した。これはフォックスコンに続く2つめのハイテク関連のビッグプロジェクトとなる。任学鋒・市党書記が起工式に出席した王曉東・北京ライフサイエンス研究所所長一行と懇談し、意見交換を行なった。このバイオ医薬品生産工場では、主に高分子型クローン抗体系の抗がん剤を生産する（3月22日付『広州日報』、『南方日報』）。

3. 安全生産業務に関する緊急会議の開催

●25日午前、第7火力発電所で作業用の足場が倒壊した事故の報告を受け、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長、任学鋒・市党書記が指示を出し、温国輝・市長、省安全生産監督管理局長、陳志英・常務副市長、謝曉丹・市政法委員会書記、楊江華・市公安局長等が事故現場へ向かった。温市長は病院で負傷者を見舞った。同日午後、温市長主宰の上記会議が開催され、事故の状況報告が行われ、温市長が講話を行い、陳志英・常務副市長が具体的な手配を行なった（3月26日付『広州日報』）。

4. 広州市代表团がボアオ・アジアフォーラム2017年年次総会に出席

●24日～25日、任学鋒・市党書記率いる広州市代表团が上記フォーラムに出席し、開幕式、2017広州「フォーチュン」グローバルフォーラム・ボアオ交流会、広州A1円卓会議に参加した。潘建国・市党秘書長、蔡朝林・副市長、市商務委員会、市外弁の責任者も関連イベントに参加（3月27日付『広州日報』）。

●曾慶洪・広汽集団董事長が上記フォーラムに出席し、同集団初の海外R&Aセンターをシリコンバレーに設立すると述べた。また、A1分科会に出席した杜蘭・科大訊飛（iFLYTEK）上席副社長は、A1の産業構造は今後5年～10年の間に確立されていくので、同社は広州市に華南地域のヘッドクォーターを設立し、同市が「A1シティ」を築いていくのを手助けすると述べた（3月26日付『南方日報』）。

III. 深圳市

1. 反腐敗にかかる処分

●20日午後、深圳市紀律検査委員会公式ホームページである明鏡網は、何学文・元深圳・汕尾特別協力区管理委员会主任を嚴重な紀律違反で調査中と発表した（3月21日付『深圳特区報』）。

※深圳・汕尾特別協力区は産業と労働力の移動（双転移）・貧困解消（脱貧）・小康社会実現に向けて、省内ペアリング支援事業が行われている場所の1つ。

●23日、深圳市人民検察院の確定を経て、羅湖区人民検察院が1月4日、冷幼民・元深圳市公安局光明分局副局長（副処級）を収賄罪の疑いで立案・調査し、先頃、起訴したと伝えた（3月24日付『深圳特区報』）。

※光明新区は2015年12月20日、地滑り事故が起こった場所である。

2. 許勤・市党書記兼市長、丘海・市人代主任がそれぞれ五十嵐立青・つくば市長と会談

●21日午後、許勤・市党書記兼市長、丘海・市人代主任がそれぞれ五十嵐立青・つくば市長一行と会談し、双方は次のように述べた。深圳市とつくば市は友好都市締結以来、経済、文化交流において、はっきりとした成果を得ており、各自の比較優位が十分に発揮されることを期待しつつ、科学技術イノベーション、教育、文化等の分野での協力をより一層強化し、ウィンウィンの発展が実現するよう努力し、両市民のためによりいっそう福祉を増進させていきたい（3月22日付『深圳特区報』）。

3. 中広核が桂林銀行の株式を取得

●先頃、桂林銀行が資本金額を30億元へ変更する工商登録手続きを終えた。中国広核集団が同行に戦略的に資金を投入し、その10%にあたる3億元の株式を取得し、正式に株主となった。双方はこのたびの株式投資を起点に、全方位的な戦略的協力を正式に開始した（3月22日付『深圳特区報』）。

4. 深圳市で第1回オーストラリア・フィンテック中国ロードショーがスタート

●21日、深圳市で上記ロードショーが開催され、中国とオーストラリアのフィンテック分野におけるリーディングカンパニー代表や関連機関の責任者が「オーストラリア・中国フィンテック産業発展フォーラム」に出席し、オーストラリアのフィンテック市場に対する理解を深めた。オーストラリアで最も代表的なフィンテック企業8社がブロックチェーン、ネットワーク・セキュリティ、ウェルス・マネジメント（資産管理）、オンライン決済等の技術や応用方法を実演し、深圳市のフィンテック企業と一対一のビジネスマッチングを行なった。このたびのロードショーはオーストラリア投資貿易委員会が主催し、深圳市インターネット金融協会等、多数の団体が協賛した（3月22日付『深圳特区報』）。
※ロードショー（金融）：上場承認後で株式公開前に機関投資家向けに行う会社説明会。

5. アルゼンチンのラ・リオハ州が深圳市に在中国代表処を設立

●23日、アルゼンチンのラ・リオハ州が深圳市に在中国代表処を設立し、除幕式及び経済・貿易交流会が開催され、今後、両地域は経済・貿易協力、民間往来の推進に力を注いでいくこととなった。艾学峰・副市長が式典の前にラ・リオハ州知事一行と会談。同知事は記者のインタビューに応じ、アルゼンチンとチリが署名した太平洋地域経済連盟に関する一体化計画を紹介した（3月24日付『深圳特区報』）。

6. 深圳投資協力交流会の開催

●25日昼、ボアオ・アジアフォーラム2017年年次総会期間中、市政府とボアオ・アジアフォーラム事務局が上記交流会を共催し、国内外の政界、ビジネス界、学術界、メディア業界等から約180人の著名人が一堂に会し、深圳経済特区の改革開放イノベーションにおける独自の魅力を共に感じ取った。福田康夫ボアオ・アジアフォーラム理事長、曾培炎・元国務院副総理、ゴ・チョクトン・シンガポール名誉上級相、ラファラン元仏首相、シップリ元NZ首相等が同交流会に出席。許勤・市党書記兼市長、周文重ボアオ・アジアフォーラム秘書長が出席するとともに挨拶（3月26日付『深圳特区報』）。